特集／知久 清志 五霞町長 就任インタビュー

広告　企画・制作　建設未来通信社広告部

“地域の声を”住民主体のまちづくり

～町の未来を切り拓く、力強い一歩踏み出す～

◆プロフィール◆

知久 清志（ちく・きよし） 1959年10月20日生まれの63歳。立教大学法学部法学科を卒業。1983年、埼玉県入庁。教育局、環境部、土木部を経て福祉部に配属され、以来25年間福祉行政に従事する。2018年には福祉部長に就任し、20年3月に退職。今回、五霞町長に初当選した。趣味はヨガと登山。座右の銘は吉田松陰の「至誠通天（至誠天に通ず）」。誠の心をもって物事に取り組む。

産業団地 早期開発へ

当面はＩＣ周辺で検討

若者を呼び込むＰＦＩ住宅

役場庁舎 建て替え

本年度に基本計画

4月の町長選で、知久清志町長は初当選を果たした。工業団地の開発、PFI住宅の整備、役場庁舎の建替など、あらゆる施策に取り組むべく、力強い一歩をすでに踏み出している。町の未来を切り拓くため、これからどのような姿勢で歩んでいくのか。五霞町に住み続けてきたからこそ、町が抱える課題をよく知り、そして町の魅力も熟知している知久町長の思いを聞いた。

住民主体のまちづくりを

選挙の際に聞くことができた住民の声は、何よりも参考になる。改めて、町の課題は少子高齢化や人口減少であり、それらの解決のためにまちの魅力づくりが急務であると感じた。日頃から地域活動も実施しているため、いつも自分で疑問に思っていたところを再確認したという意味も強かった。地域の声を今後のまちづくりに活かし、住民主体のまちづくりをしていかなくてはならないと思う。

産業団地は候補地検討

産業団地については、さらなる町の活性化や自主財源の確保などのため、次の候補地を急いで開発しなければならない。本年度から検討に入り、できるだけ早急に進めていく。

候補地は、地域住民の方々や関係者の意見を聞き、よく練っていきたい。本町は、都心から約50㎞圏内に位置し、首都圏中央連絡自動車道や新4号国道が通る交通の結節点であり、利便性が高く、立地条件が良いことから、当面はＩＣ周辺で候補地検討を進めたいと思う。

企業誘致については、本社企業に来ていただけるとありがたい。雇用を増やすという意味では、正社員が働けるような企業が理想的だと考えている。住民の念願である商業施設にも来てもらえれば。

人を呼び込むＰＦＩ住宅

企業で働く人のための住宅地開発も必要だと思う。また、子育て世帯や若者を呼び込むきっかけにもなると思うので、ＰＦＩ法に基づいた事業手法による住宅整備を検討している。本年度中に方針を定めたいと考えている。

現在、2箇所の候補地が上がっている。まずは原宿台コミュニティセンター・辰堂公園の敷地内。それから利用者が少ない川妻地区の川岸前公園・宅地で住宅を整備するという方針で検討している。

道の駅から魅力発信

道の駅ごかには、活性化の余地が大いにある。後背地をすでに購入してあるので、そこを活用したい。場合によっては建物本体の建て替えをするか、それとも既存施設を改修するのか。そのあたりも、これから相談していきたい。後背地の活用に関する方針が定まるまでの間、当面は駐車場として利用していく。

道の駅ごか付近で4月にオープンしたラジコンパークGokaや、Street sports park Gokaには、県内外から多くの愛好者や若者が訪れていると聞く。そういった人たちに道の駅で買い物してもらえるよう、新たな地場産品を使った商品の開発など、魅力発信もしていきたい。町内には魅力のある企業がたくさんあるので、そうした企業と連携したり、農業者の方と一緒に商品開発を進めていければ面白いと思う。

町のシンボル・庁舎を建て替え

役場庁舎の建て替えについては、本年度中に基本計画を策定したい。「この庁舎じゃ危ないよね」という声も多くある状況なので、早急に進めていく。住民の声に向き合い、どんな施設にするべきか、どんな機能があるといいのか、町のシンボルとしての役場庁舎の姿をきちんと描いていきたい。数十年先までも町の中心となる建物なので、慎重に検討しなければならない。

現在まとまっている基本構想をベースに、基本計画を進める。町民の皆様へ向け、改めて丁寧に説明した上で、町民の意見にもきちんと耳を傾けたいと思う。

上下水道の広域化へ

まずは下水道の広域化から進めていきたいと考えている。町には農業集落排水施設が4施設、公共下水道施設が1施設ある。その集約化に向けた工事も進めなければならない。他県との広域化も視野に入れているが、その前に町内での機能集約を実施していく。他県との広域化は、相手がいることなので慎重に進めていきたい。

建設業者との協力関係

町の建設業者の方々には、災害時や降雪の対応、清掃活動など、多岐にわたって協力いただいているので、本当にありがたい。これからもより一層、連携を深め、協力関係を維持させていただければと思う。五霞町は建設業者が多いので、産業育成という観点からも連携していきたい。

毎年行っている業者との意見交換も継続していければ。まちづくりには欠かせない存在であり、専門的な知恵も持っている。プロならではの視点で、まちづくりへのアドバイスやアイデア、情報などもいただければありがたい。お互いに知恵を出し合って、協力関係をさらに築いていきたいと思う。

地域の守り手として　五霞町の発展に貢献する　五霞町建設業協会

㈱ 青木建設 猿島郡五霞町山王山278－1 TEL 0280－84－0022	板通 ㈱ 猿島郡五霞町川妻220 TEL 0280－84－0229	㈱ 大塚工務店 猿島郡五霞町原宿台4－5－5 TEL 0280－84－3411	㈱ 岡島組 猿島郡五霞町原宿台3－31－1 TEL 0280－84－1968
小沢道路 ㈱ 猿島郡五霞町幸主乙662－1 TEL 0280－84－0578	㈱ 五霞建設 猿島郡五霞町冬木730－1 TEL 0280－84－0577	㈱ 新栄開発 猿島郡境町伏木1373－1 TEL 0280－87－3122	㈱ 関口建設 猿島郡五霞町釈迦2483－2 TEL 0280－84－3830
㈱ 阪東組 猿島郡五霞町小手指1143－1 TEL 0280－23－5307	松沼建設 ㈲ 猿島郡五霞町小手指723 TEL 0280－84－0241	㈱ 三浦工務店 猿島郡五霞町大福田733－5 TEL 0280－84－1257	知久町長とともに 町の未来を支えます